

# 松江市 報道機関配布資料

令和7年4月24日

件名

小泉八雲とセツが教える“おいしい英語”

八雲とセツの交流が感じられる新商品が松江市で販売開始



2025年秋放送予定のNHK連続テレビ小説「ばけばけ」を契機に、松江市内の洋菓子店「松江クロード」（島根県松江市上乃木7丁目10-6）は、小泉八雲とその妻・セツをテーマにした新商品『ヘルンサブレ -八雲とセツの英語レッスン-』を発売いたします。

本商品は、2024年10月に松江市に設置された「小泉八雲・セツのドラマ応援室」において、連続テレビ小説「ばけばけ」の放送を見据えた地域活性化の一環として企画されました。商品化のきっかけとなったのは、同応援室の担当職員が、小泉八雲夫妻にちなんだ商品開発を模索する中で、八雲とセツの英会話をモチーフとした商品開発を、株式会社ぐるなびから地域活性化起業人として松江市に派遣されていた寺島奈実氏（現・松江観光大使）に依頼したことによります。

商品名の『ヘルンサブレ -八雲とセツの英語レッスン-』には、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）とセツ夫人の夫婦の交流をイメージし、彼らが紡いだ異文化理解の物語を、親しみやすい焼き菓子という形で表現したいという思いが込められています。サブレやパッケージには「英語レッスン」をテーマにした遊び心のあるデザインが施され、お土産やギフトにも最適です。

物語の舞台となる松江市から生まれた本商品は、観光や話題喚起の一助となることが期待されています。観光客はもちろん、地域の皆さまにも愛される松江発の新たな銘菓として、ぜひご注目ください。

商品概要

商品名: ヘルンサブレ -八雲とセツの英語レッスン-

発売日: 2025年4月25日(金)

価格: 税込 972円

販売場所: 松江クロード(島根県松江市上乃木7丁目10-6)

内容: サクッと軽い口当たりのサブレ5枚入り。  
セツが八雲から英語を教わっている様子がプリントされている。



▼サブレのデザイン





2024年6月に、NHK連続テレビ小説「ばげばげ」の放送が発表され、そのモデルとなった小泉八雲・セツ夫妻を、あらためて“松江の財産”として広く伝える絶好の機会が訪れました。

小泉八雲・セツのドラマ応援室としても、これまで注目されることが多かった『怪談』をはじめとする八雲の著書にとどまらず、夫婦の温かい交流に光を当てることによって、八雲夫妻の魅力を発信できるのではないかと考え、商品化のアイデアを模索しておりました。

そんな中、小泉八雲記念館の企画展『小泉セツ — ラフカディオ・ハーンの子として生きて』の図録に掲載されていた、セツの英単語帳や、夫婦のコミュニケーションが非常に印象的で、「これをお菓子などの商品にできないか」と考え、既に怪談グルメで数々の商品企画に携わっていた寺島さんに商品企画を依頼しました。

寺島さんからは「お土産にも手に取りやすいよう、個包装で日持ちがする焼き菓子が良いのでは」との提案があり、寺島さんから松江クロード様への企画持ち込みにより今回のヘルンサブレが実現しました。

セツが真剣に八雲から英語を教わっていた様子を、温かくユーモラスに表現した可愛いサブレが完成したことを、とても嬉しく思っています。多くの方に楽しんでいただき、松江の新たな魅力として広がっていくことを願っております。

## 寺島奈実（松江観光大使・企画担当）



2023年より、“怪談ゆかりの地”としての松江の魅力を広く発信するため、地元企業の皆さまと連携しながら、“怪談グルメ”の商品開発に取り組んでまいりました。

今回のプロジェクトは、松江市役所の後藤様より『セツの英単語帳をテーマにした商品開発ができないか』というご相談をいただいたことがきっかけでスタートしました。

セツが記した英単語帳の中から、分かりやすく、思わずクスッと笑ってしまうようなユニークな単語を5つ厳選し、それらをサブレにプリントしていただきました。

八雲がセツに英単語を教えている様子表現するため、2人のイラストに吹き出しを添えるなど、遊び心のあるデザインにもこだわっています。

中でもお気に入りのは、“sleepy”を「シレーパー（ねむたえ）」と記したセツの記録。出雲弁ならではの味わいがあり、見た人の記憶にも残る一枚になったと思います。

また、英単語帳をイメージしたブック型のパッケージも、おしゃれでストーリー性のある仕上がりとなりました。

小泉八雲・セツの魅力を“味わえる”形で届けられる商品として、幅広い世代の方に手に取っていただけたら嬉しく思います。

鶴田桂子氏(松江クロード代表取締役／開発・製造)



松江クロードでは、2024年の小泉八雲没後120年・『怪談』出版120周年を記念し、ゆきおんな缶・かっぱ缶というクッキー缶を皮切りに、夏季にはゆきおんなかき氷、かっぱかき氷、クリスマスにはゆきおんなケーキ、かっぱケーキと、さまざまな“怪談グルメ”を展開してまいりました。

今回は、後藤さん・寺島さんから依頼を受け、これまでとは少し趣を変え、小泉八雲とその妻・セツが楽しく英会話のレッスンをしている様子をイメージしたサブレを制作いたしました。

地域の歴史と洋菓子の魅力を掛け合わせるといふ、私たちにとっても貴重な機会をいただき、楽しみながら取り組むことができました。松江ならではの菓子として、幅広い世代の方に手に取っていただけたらうれしく思います。

【問い合わせ】

松江市 産業経済部 商工企画課 特産振興係 久保田 (0852-55-5978)